

江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.6

「移住者から見た江府町」



僕が江府町に移住しよう  
と決断した大きな理由はや  
はり江府町の自然です。谷  
と高台の特殊な地形で出来  
ている江府町には自然を楽  
しめる場所がいっぱいあり  
ます。自給自足の暮らしが  
したい僕にとっては素晴ら  
しい場所だと思っています。  
田舎と言っても、一人で自  
然の中にいるわけでは無く、  
日々の生活で地元の方との  
楽しい触れ合いもたくさん  
あるので心細くはならない  
です。幸いな事に、自分は  
大切に思える自分の住まい  
と出会えたので、安心して  
前へ進めます。江府町に訪  
れる友達も江府町に憧れて  
いますが、「住みたいと思っ  
ていてもなかなか家が借り  
られない」という声を多く  
聞きます。(菜畑)



私にとつての江府町は都  
会とは比べ物にならないく  
らい最先端な場所です。手  
つかずの豊かな自然がとて  
も刺激的！やりたくなるこ  
とが盛り沢山で大忙し！  
どーんと大きな大山が近  
くあって、とにかく自然  
が雄大で、もうそれだけで  
もの凄い安心感があり、毎  
日ありがたいなあと思いま  
す。  
あと、やっぱり水が美味  
しい!!移住者にとつて、「水  
のきれいなところ」という  
のは、何よりも大きな移住  
候補のポイントではないで  
しょうか？  
ずっとこの先も森を守り、  
水を大切にしていきたいで  
すね。(岩崎)



宮市集落に来て早いもの  
で2年が経ちます。私が生  
まれ育った尼崎市は45万人。  
直近10年を過ごした京都市  
は147万人の都市です。  
田んぼや自然にはあまり縁  
のない人生を送ってきた。  
田舎は閉鎖的、という  
イメージとは全く違う宮市  
集落の皆さんのオープンな  
歓迎に感動する毎日です。  
人口減少は避けられない  
問題であるとは思いますが、  
こうして地方に移住しよう  
とする若者たちに向けて開  
放的な集落が増えていく事  
は「3000人の楽しい町」  
を作るひとつの手段ではな  
いかと思う次第です。(松本)

日野高レポート 第4回 

課題研究を発表するの巻 その2

12月13日(木)、4月から取り組んでき  
た課題研究の発表会が、日野高校で行われ  
ました。来年、課題研究を行う2年生の前  
でパワーポイントを使い、研究の目的や成  
果を発表しました。

発表では、その課題に至った経緯やどの  
ようにして調査したのかを説明し、実際に  
作成した動画を流したり、作成したクイズ  
やポストカードをサンプルとして配布する  
などし、作品を紹介しました。

発表を聞いた生徒からは、「どのよう  
に動画を撮影したのか」「アプリを使うとい  
う発想が面白い」といった感想がありました。  
※これまでの活動の様子は、町報こっか  
6月・7月・11月号で紹介しています。



▲発表の様子



▲日野高生が考えた江府町のキャラクター